

かけはし

2017
Vol.77
November



もしも災害が起きた時、どう行動するべきか？
外国人の方々に知っていただくため「外国人防災教室」
を開催しました。

世界をあそぼう!

フレンドシップフェスティバル2017

イオンモール木曾川 ノースコート 9.30、10.1

2015年9月に初開催し、今年で3回目となるフレンドシップフェスティバル2017。今年も前年度に劣らず目白押しの内容でした。家族連れも多く、子供たちの声もたくさん聞こえてきました。

初日は中国大黄河雑技団による様々な中国雑技が披露され、会場の注目を集めました。手を使わずに一瞬でお面を変える中国の伝統芸能「変面」は近くで見ても、どうやっているのか全くわかりません。面が変わるたびに歓声があがり、会場は大いに賑わいました。



2日目はインドの楽器シタール・タブラの演奏に始まり、忍者の衣装を身にまとった服部半蔵忍者隊の中のくノ一（女性の忍者）さんの楽しいトークをはさんでのアクションや手裏剣の実演は会場の子供たちにも大人気で、手裏剣を投げるアトラクションは行列ができていました。



市内の中学生から公募で選ばれたメンバー16人がイタリアのトレビーゾ市に行ったときの学習成果発表も、熱のこもったその話しぶりにお客さんたちは興味深く耳を傾けていました。

毎年恒例にもなってきた、国際交流協会「日本語ひろば」タオさんのギター演奏もますます磨きがかかって聴き応えがあります。

さて、最後は毎年賑やかに締めくくってくれるオ・ペイシ・キ・ヒというサンバグループの今年の踊りは、宇宙的衣装をまとったフィリピンのダンサーともコラボして、さらに、さらにショーアップして今年のフェスティバルのフィナーレを飾っていました。

(you 都市)



将来は大学へも行きたい! 決してあきらめない!

外国人児童生徒向け進路説明会 i-ビル 7.22

市内に住む外国人児童生徒向けに、高校への進路説明会を開催しました。フィリピン、中国、ペルーの国籍を持つ親子での参加が多かったです。

NPO法人プラス・エデュケートから、森頭子さんを講師に迎え高校へ行くための準備や、なぜ高校へ行くことが必要なのかについて、話をしてもらいました。また、一宮高校定時制の久野先生や、一宮の中学を卒業し、試験を受けて高校に進学した二人の生徒の体験談もありました。

とにかく大切なことは、小学生の時からこの様な場所に来て話を聞くこと、そして中学校の先生と、子供と、親と話して納得して決めること。人の噂に惑わされないで、子供にとって一番いい進路を考えることが大事だと、講師の先生は話されました。

今回参加した子供たちに、どうして高校へ行きたいか話を聞きました。すると友達を作りたいとか、高校が楽しそうだからとか、中には医



者になりたいから、高校へ行き大学まで進みたいと意欲的な子もいました。

高校生の体験談では、まず問題なのは日本語。初めはコミュニケーションもうまく取れず、自分の気持ちさえ伝えられなかったけど、それでも塾へ通い、漢字は毎日6時間勉強したそうです。周りの人の協力や、本人の努力、決してあきらめない強い意志があれば大丈夫だそうです。将来は大学へ進みたいと、自信を持って話していました。

そして親がすることとは、お金を準備することです。公立、私立ともにお金はかかります。この会に参加した親も子も、将来のことを、真剣に考えているようすが良く伝わってきました。
(みかん)

わが家で国際交流!

名古屋大学夏季セミナー ホームステイ 8.18~20

名古屋大学の夏季セミナーに本国から選抜派遣された方々に、2泊3日の日本の家庭生活を楽しんでもらうホームステイです。ウズベキスタン、ラオス、モンゴル、ベトナム、カンボジアの5ヶ国8人をホストファミリー7家族で受け入れました。



ゲストは、短期間とはいえ沢山の荷物を持ち期待と不安を抱えて対面式に臨みました。対面後は、安心したのが笑顔での会話が弾んでいました。また、ホスト家族の小さなお子さん達は、

外国の方に抵抗感がなくさっそく遊び相手にしてました。

そんな中、ゲストに何がしたいですかと問うと、海のない内陸国の留学生は「海と日本の花火が見たい」との回答でした。そしてホームステイが始まりました。

各家庭では、自分で作るお好み焼きで日本の味を体験、なばなの里へ花を見に出掛けられ綺麗なベゴニアを楽しむとともに、沢山の写真を撮られていたと聞きました。

また今年も、協会ボランティアでもある日本舞踊教師の花柳こま希久先生のご厚意で、先生の練習場で希望のゲストに本格的な着物を着付けてもらいました。参加した2人の留学生は、最高の思い出として心に焼き付いたことでしょう。あなたも楽しいホームステイに挑戦しませんか。
(佐野)



こどももおとなも世界をまなぼう!

セタグローバル

English Free Talk



11Fレストラン サンライズで開催。参加者は江南、稲沢からも来て全部で12名が夏の話「土用のうなぎ」など英語のおしゃべりで盛り上がりました。



6 mのサリーの試着をしました。インドの女性はサリーに目がないんです。



くらべてみようインドと日本



トレビーズ 知ってるカモゲーム

トレビーズのスゴロクで遊びながら、トレビーズの教会や街並みを見て歩きます。



ホームステイ 受け入れセミナー

ホームステイする外国人：**ゲスト**
受け入れ家庭：**ホストファミリー**



(過去の協会ホームステイ事業にて)

世界中に家族を作ろう。
あなたも楽しいホームステイに挑戦しましょう!

Kiwi English ニュージーランド英語



「Kia Ora!」はじめはマオリ語のあいさつから始まった、ニュージーランド英語を紹介するセミナー。
少し聞き取りにくい省エネ英語ですが、会場にはちゃんと聞き取っている人もいました。
ロザンナさんの最後の講義に会場は満員でした。



サマーセミナー

7月26日 一宮市役所

「一宮七夕まつり」のイベント。一宮市役所の会議室と展望レストランを使い、親子で楽しめる、色々なセミナーを同時進行させました。内容は、フラダンス講座、クラフト体験、ゲーム、英語フリートーク、英語落語など、国際交流を楽しみました。

ペルーの踊り 今昔



「Soy Maria.」
(私はマリアです。)

講師はマリアさん。はじめにスペイン語のあいさつから。続いて南半球のペルーの地理や風俗、特産物の紹介。

そしてダンスの実演。folkloreの音楽をバックに白い衣装で民族ダンス。衣装を着替えて、サルサ、メレンゲ。最後はレゲトン。とても楽しそう！



ハワイ フラダンス講座

音楽に合わせてみんなでフラダンスのレッスン



クラフト体験



ダーラナホースのペーパークラフト

国際理解 ワークショップ

知らず知らずのうちに自分の中に出来ている「思い込み」を知るワークショップ



アフリカの布で作る私だけのネックレス

ダイアン吉日 英語落語&講演



国際理解に関心のある一宮西高校の生徒たちとダイアン吉日さん

一宮市国際交流員交代のお知らせ

新国際交流員
ラッド・ジョナサンです



Hello from NZ! ジョノと呼んでください〜

ラッド・ジョナサン
Rudd Jonathon

年齢：25歳
出身：ニュージーランド クライストチャーチ
趣味：バイク、車、語学、英語を教えること
みんなに一言：3年間よろしくお願いします。



NZ南島で父(写真右)とツーリング

一宮市に来たばかりで、まだどこも分からないので、町をうろろろしている私を見かけたら是非話かけて下さい！今年には日本に来て通算3年目になります。2013年に1年間のワーキングホリデーで輸出入関係の仕事をして、2015年に1年間学生として東北大学に通いました。ワーキングホリデーの時は東京の三鷹市に住んで、埼玉までバイクで通勤しました。趣味がバイクなので、毎日バイクを2時間も乗って幸せでした！日本に興味を持ったきっかけは、実家がずっと前からホームステイとして留学生を受け入れていまして、色々な国の人の中で日本人の優しい、礼儀正しいところが目立ちまして日本の言葉も文化も勉強をしたくな

りました。

東北大学の時に自動車部とバイク部に入っていたので仲間が出来たのですが、皆さん卒業して日本中に散らかってしまったから東北に戻っても居ないので、新しく愛知県でバイクと車の友達を作りたいと思います。将来的に日本に滞在する、ニュージーランドを代表する大使の仕事を目指しています。一宮市役所の国際交流員として働くのも大事な経験になると思います。ニュージーランドについての質問や相談がありましたら、是非いつでも気軽に一宮市国際交流協会までご連絡を下さい！よろしくお願いします。

ロザンナからお別れのメッセージ 3年間、ありがとう!!

フィンクルヴァーン・ロザンナ
Finkle-Vern Roseanna

ニュージーランドの首都ウェリントン出身。
English Free TalkやNZワイン文化セミナーなど、
さまざまな新規事業で活躍し、大きな功績を残した。
(任期：2014年8月～2017年8月)

国際交流員としての3年間があっという間に終わりました。ここで過ごした時間は言葉にできないくらい素敵な経験でした。それは一宮市のみなさんのお陰だと強く感じています。

国際交流員として、たくさんの人とふれあうことができました。一宮市の小・中学校、そして特別支援学校を訪問し、ニュージーランド(NZ)の紹介を一生懸命聞いてくれる生徒に感心しました。文化セミナーでは市民のみなさんとNZのお菓子を作ったり、ワイン文化を試飲しながら紹介したり、方言やジェスチャーについて話したりして、たくさんの人といろいろな形でNZと日本の間で繋がりが作られたと思います。この

ような草の根交流をきっかけに、NZと日本がこれから更に仲良くなってくれると信じています。

私がそれに少しでも役に立てたら、嬉しいです。

来日したときに書いた文章を振り返ってみると、「日本料理が作れるようになりたい、そして富士山に登ってみたい」とありましたが、つい先日富士山の頂点に立つことができ、私の目標を全て達成することができました！

たくさんの人、特に国際交流協会のボランティアさん、生涯学習課のみなさん、学校の先生や生徒、そして一宮でできた友達の応援があって、私は成長したと思います。

本当にお世話になりました。3年間、心の底からありがとうございました。



国際交流員
フィンクルヴァーン・ロザンナ



おとなりさん



今回紹介するのは、ペルー出身の田上サラさんです。

初めてお会いしたとき、サラさんは一宮中央図書館のおはなしの部屋で、絵本を片手にスペイン語による読み聞かせをしていました。「ピノチョって知ってる? そうそう日本語でピノキオのことだよ」と、子供たち一人ひとりの顔を見ながら話しかけている明るい表情が印象的でした。



この読み聞かせの他にも、得意な料理の腕を活かしてペルー料理の講師をするなど、様々な国際交流イベントでボランティアとして活躍しています。

世界遺産マチュピチュがあるペ

ルーは、ジャガイモの原産国。100以上品種があり、スーパーにはいろいろな種類のジャガイモが並べられ、おいしいペルー料理の食材としてかせないそうです。

日系人のご主人オスカルさんの仕事の都合で、日本にきて早15年。最初はわからなかった日本語も、日本で生まれた娘さんが入園した保育園で、たくさんのお母さんたちと話をし、上達したそうです。今は、ママ友に聞いていたわからないことを、中学生になった娘さんに聞くことが多くなったそうです。

サラさんは、「小さい頃は、日本で生活するなんて考えたことはありませんでした。でも日本に住んで、ご近所さんや周りの方がとてもやさしくて、日本に住んでよかったと思いました。これからもどんなことが起こるかかわからないけれど、その都度立ち止まって考えて行動したいです。」と語ってくれるしっかり者の女性です。

(伏原)



iia information

日本語の教え方セミナー

「日本語教育入門編」

外国人に初めて日本語を教える方向けの基礎知識をお話します！

日時：1月16日(火) 2:00PM~4:00PM

「日本語教育実践編」

外国人に日本語を教えた経験のある方向けの、スキルアップ講座です。

日時：1月23日(火) 2:00PM~4:00PM

◆1月16日・23日ともに

会場：一宮市役所本庁舎11階 1101会議室

定員：30名(抽選)

受講料：無料

申込み：12/22日(金)までにiia事務局まで

※どちらか一方のみのお申し込み、両方まとめてのお申し込みも出来ます。

*協会事業を支える国際交流基金への寄付を募集しています。詳しくはiia事務局までお問い合わせください。

友好都市提携5周年記念事業

「とれたてイタリア! 野菜たっぷりパン教室」

友好都市トレビゾの特産品であるイタリア野菜をたっぷり使っておいしいパンを作ります。

日時：1月21日(日) 9:30AM~1:00PM

会場：尾西生涯学習センター5階料理実習室

参加費：500円(教材費を含む)

定員：24名(抽選)

申込み：12/22(金)までにiia事務局まで

iia Facebookページ

イベントのお知らせや、外国人のみなさんに役立つ情報を多言語で発信しています。

Multilingual posts about event notices and helpful information for foreign residents.



無限の力を持つ 子どもたちを見た!! 森 敦子

你好！こんにちは。
私はこの夏、上海の西、太湖のほとりに建つ「太湖大学堂」という施設で行われたサマーキャンプに参加して来ました。



「太湖大学堂」は中国屈指の国学大師、詩人、伝統文化伝来者で、儒教・仏教・道教に精通する伝説的な存在と言われる南懷瑾氏（興味のある方はぜひ検索してみてください）によって建てられた全寮制の小学校です。このキャンプは小学1年生～6年生が12日間一緒に過ごす教育プログラムで、今年是中国全土から約100名、台湾から28名、日本からはヒッポファミリークラブのメンバー19名が参加しました。

中国本土に、それぞれの国の子らが一堂に会するという素晴らしい機会に立ち合えたことがまずはとても嬉しいことでした。

到着直後、不安MAXの子どもたち。1クラス15名に日本の子は1～2名。もちろん、先生方もクラスの子も中国語で話します。とにかく周りについていくだけで精一杯。宿泊も6人部屋に日本の子は1人。自然に涙が出てきてしまう子も…。

朝は6時起床、カンフーの授業から一日が始まります。その後論語の暗唱、カヌー、薬草づくり、陶芸などさまざまな体験授業や水遊び、遠足などの楽しいイベントがあり、21時の就寝までやることいっぱい毎日が続きます。

右も左もわからない日々が2～3日過ぎると、子どもたちはだんだん、自分で動けるようになってきました。「チーリー」と言われれば「気を付け」のように立ち「パイトエ」と言われたら並ぶ。どんどんわかる言葉も増えていきました。

一人の中国の子が「日本語で“不哭”は何？」と聞いて来ました。「泣かないで！」と教えると泣いている子に声をかけに走って行きました。みんなが助け合ううちに、しだいに英語や日本語も飛び交うようになっていきました。泣いていた子も「泣くのを我慢して頑張ろう！」と気持ちを入れ替えていきます。

そうして、12日間やりきった子どもたちは、カンフーも論語の暗唱もしっかり身に付け、日本では決して体験できないことをたくさん学んできました。異なる環境の中でも自分で楽しさを見つけていく。人間が生まれながらに持っている能力を思いっきり発揮した子どもたち。その人間の能力と子どもたちの素直な姿に心から感動した夏でした。でも、大変そうだと思っていたのは大人だけ？子どもたちは私が思う以上にいろんなことを理解して楽しんでいたのかも…笑。

みんなよく頑張ったね♥谢谢



編集後記

一宮に引っ越してきて1年が経ちました。一言で言うと、「住みやすい」と感じています。物価の安さ、病院の多さ、交通の便、家族で遊びに行く場所の充実など、魅力的なものがたくさんあります。こどもを連れて散歩していると、いろんな人に声をかけられます。決して都会ではないけれど、温かい人たちがいる一宮が好きです。間もなく冬の到来ですが、2度目の冬も暖かい気持ちで過ごせそうです。今季も一度は大雪になって、こどもの喜ぶ顔が見れるといいな。（大野）

発行 一宮市国際交流協会 (〒491-8501 一宮市本町2-5-6 一宮市生涯学習課内)

ご意見・ご感想お待ちしております 【TEL:0586-85-7076 E-mail:kokusai@city.ichinomiya.lg.jp】

当協会に関する情報はウェブサイト・Facebookページもご覧ください

【WEB:<http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/iia/> Facebook:<https://www.facebook.com/iia138>】

*この「かけはし」は、協会ボランティアにより取材・編集されています。

みなさんも国際交流協会親善ボランティアに参加しませんか？お気軽にお問い合わせください。